

南山短期大学人間関係研究センター事業報告

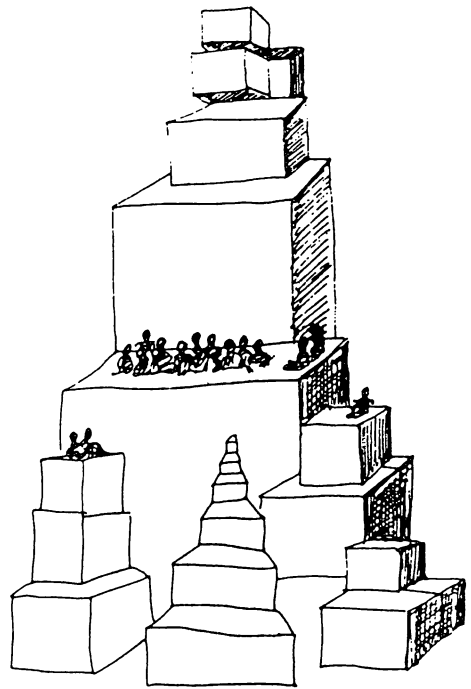
(1997年度)

事業概要	207
社会人研修	208
1. 人間関係基礎研修講座（一般研修）	208
2. 人間関係専門研修講座（継続研修）	208
3. 社会人研修参加者統計	211
コンサルテーション	212
1998年度人間関係研究センター事業予定	214
南山短期大学人間関係研究センター規程	226

■ 事業概要

“ねむりこけたままほうられている人間が多すぎる”

—サン・テグジュベリ



センターの重要な活動である社会人のための公開講座は、1977年のセンターの発足時から毎年定期的の開講されている基礎研修講座を中心に、各種の専門研修講座や特定研修講座を開催している。これらの講座は南山短期大学が地域社会に対してユニークな学習の場を提供する機能と同時に、センター研究員に対して教育訓練に関する多様な臨床研究の場を提供する機能を果たしている。

基礎研修講座（一般研修）は、昨年度は春・夏・秋に各1回ずつ開催され、既に50回を重ねた。基本的なプログラムは週1回約3時間の研修を10週間続けて1コースとし、体験学習による自己理解や他者理解、コミュニケーション・プロセス、グループ・プロセスの基本的な学習を目指している。受講者にとっては、利害関係にとらわれることなく、さまざまな人々と接触を持つことも魅力の一つであり、そこから新しい友人関係や仲間意識が生まれ、自主研修グループに育っていく場合もある。

専門研修（継続研修）としては、“自己理解を深める”研修と“グループ・プロセスの理解を深める”研修とが基礎研修に続く研修として開講されている。中部地区では唯一の「Tグループ（人間関係トレーニング）」や、「TA（トランスアクションナル・アナリシス）」は回数を重ね、「からだごとばのセミナー」や「クリエイティブアート・セミナー」、「アドバンス体験学習」も多くの受講者を迎えている。また、3年ぶりに「セルフサイエンス・セミナー」が開講された。

一方、コンサルテーション活動は地域社会の個人や組織体に対してセンターが提供できる専門機能であり、1984年度「名古屋いのちの電話準備委員会」約100名の電話相談員の「人間関係基礎訓練」以来、「名古屋いのちの電話」は、1985年7月から相談業務に入り、センターは毎年「人間関係基礎訓練」「継続研修」の訓練計画と実施の援助を続けている。種々主地域団体の研修プログラムをはじめ1989年度国立婦人会館、1990年度名古屋生涯教育センターからのプログラム開発に対して講師としてセンター研究員が派遣されている。

■ 社会人研修／人間関係基礎研修講座（一般研修）

第48回人間関係講座

開講期間：1997年4月12日～7月12日
土曜日10回 午後1：30～4：00
参加者：22名
担当者：星野 欣生・中村 和彦

第49回人間関係講座

開講期間：1997年7月21日・23日・25日
3日間集中 午前9：30～午後6：00
参加者：14名
担当者：山口 真人・まどか 庸代

第50回人間関係講座

開講期間：1997年9月22日～12月22日
月曜日 10回 午前9：30～12：00
参加者：16名
担当者：伊藤 雅子・佐竹 一予

■ 社会人研修／人間関係専門研修講座（継続研修）

Tグループ（人間関係トレーニング）

開講期間：1997年7月27日（日）～8月1日（金）5泊6日
フォローアップ1997年12月7日（日）
会場：（財）KEEP協会・清泉寮（山梨県清里）
参加者：15名
担当者：中堀 仁四郎・山口 真人・楠本 和彦・文珠 紀久野

トレーナー・トレーニング

開講期間：1998年3月20日（金）～24日（火）4泊5日

会 場：（財）KEEP協会・清泉寮（山梨県清里）

担 当 者：中堀 仁四郎・山口 真人・津村 俊充

アドバンス体験学習

開講期間：1997年9月27日～1998年1月17日

土曜日 12回 午後1：30～4：30

参加者：23名

担 当 者：星野 欣生

セルフサイエンス・セミナー

開講期間：1997年5月1日～7月31日

木曜日 12回 午後6：30～9：00

参加者：12名

担 当 者：津村 俊充

TA入門（トランザクショナル・アナリシス）A

開講期間：1997年8月21日・22日・23日 3日間集中

参加者：15名

担 当 者：中堀 仁四郎

TA入門（トランザクショナル・アナリシス）B

開講期間：1997年11月2日・3日・4日 3日間集中

参加者：19名

担 当 者：中堀 仁四郎

TAによる自己啓発

開講期間：1998年2月20日～22日 2泊3日

会 場：（財）KEEP協会・清泉寮（山梨県清里）

参加者：6名

担 当 者：中堀 仁四郎

キリスト教的人間理解

開講期間：1997年5月10日～7月19日
土曜日 8回 午後1：30～3：00
参加者：10名
担当者：市瀬 英昭

からだとことばのセミナー

開講期間：1997年7月22日・23日・24日 3日間集中
参加者：27名
担当者：竹内 敏晴

クリエイティブアート・セミナー

開講期間：1997年7月25日・26日・27日 3日間集中
参加者：14名
担当者：伊東 留美

ドストエフスキイを読もう

開講期間：1997年4月12日～1998年1月24日
土曜日 午後4：00～6：00
参加者：15名
担当者：大森 正樹

聖書深読入門

開講期間：1997年10月13日・14日 2日間集中
参加者：15名
担当者：奥村 一郎

■社会人研修／参加者統計（1997年度）

講座名	場所	担当者	期間	時間	曜日	参加者数	性別		居住地		職業										年齢						
							男	女	市内	市外	公務員	団体職員	会社員	自営業	医療関係	教育関係	教会関係	主婦	学生	その他	無答	20～29才	30～39才	40～49才	50才以上	無答	
人間関係基礎研修講座	前回まで					1,504	300	1,204	904	600	78	72	365	55	151	201	45	305	100	106	26	644	392	329	125	14	
	人間関係講座 No.48	南山短大	星野・中村	H9.4/12～7/12	13:30～16:00	土	22	2	20	8	14	6	0	5	0	1	2	0	3	1	4	0	9	5	4	4	0
	人間関係講座 No.49	〃	山口・まどか	H9.7/21, 23, 25	3日間集中		14	2	12	7	7	0	0	1	2	3	4	0	1	0	3	0	3	5	5	1	0
	人間関係講座 No.50	〃	伊藤・佐竹	H9.9/22～12/22	9:30～12:00	月	16	0	16	9	7	0	0	2	0	1	0	0	10	0	3	0	3	8	4	1	0
	計					1,556	304	1,252	928	628	84	72	373	57	156	207	45	319	101	116	26	659	410	342	131	14	
人間関係専門研修講座	前回まで					1,538	386	1,152	667	871	81	94	414	71	156	235	16	168	98	152	53	550	435	363	132	58	
	セルフサイエンス・セミナー	南山短大	津村	H9.5/1～7/31	18:30～21:00	木	12	2	10	7	5	2	0	3	0	2	3	0	1	0	1	0	4	3	3	2	0
	キリスト教的人間理解	〃	市瀬	H9.5/10～7/19	13:30～15:00	土	10	1	9	7	3	0	2	2	0	1	1	0	2	1	1	0	2	1	4	3	0
	からだとことばのセミナー	〃	竹内	H9.7/22～7/24	3日間集中		27	4	23	10	17	2	1	2	0	1	9	0	7	1	3	0	6	13	6	2	0
	クリエイティブアート・セミナー	〃	伊東	H9.7/25～7/27	3日間集中		14	0	14	10	4	0	0	5	0	0	1	0	4	2	2	0	5	8	0	1	0
	Tグループ	清泉里寮	中堀・文珠 山口・楠本	H9.7/27～8/1 H9.12/7	5泊6日		15	5	10	3	12	1	0	6	1	0	6	0	0	1	0	0	3	8	3	1	0
	TA入門A	南山短大	中堀	H9.8/21～8/23	3日間集中		15	2	13	8	7	0	1	4	0	1	1	1	4	0	3	0	4	3	3	5	0
	TA入門B	〃	中堀	H9.11/2～11/4	3日間集中		19	3	16	6	13	4	1	4	1	2	2	0	2	1	2	0	4	5	4	6	0
	TAによる自己啓発	清泉里寮	中堀	H10.2/20～2/22	2泊3日		6	2	4	5	1	1	0	1	0	1	2	0	1	0	0	0	2	1	1	2	0
	アドバンス体験学習	南山短大	星野	H9.9/27～ H10.1/17	13:30～16:30	土	23	2	21	9	14	4	0	4	0	1	7	0	1	0	6	0	7	8	6	2	0
	ドストエフスキを 読もう	〃	大森	H9.4/12～ H10.1/24	16:00～18:00	土	15	4	11	10	5	1	0	1	1	2	1	1	4	1	3	0	0	0	7	8	0
	聖書深読入門	〃	奥村	H9.10/13, 14	10:00～15:00		15	1	14	5	10	0	1	0	1	0	3	0	8	0	2	0	0	0	8	4	3
	計					1,709	412	1,297	729	962	96	101	446	75	167	271	18	202	105	175	53	587	485	408	168	61	
総計						3,265	716	2,549	1,675	1,590	180	173	819	132	323	478	63	521	206	291	79	1,246	895	750	299	75	

■ コンサルテーション

○ 「名古屋いのちの電話」電話相談員養成講座の計画と実施

「いのちの電話」は、訓練を受けたボランティアが電話を通して、さまざまな悩みや心の危機に直面しながら身近に相談できる相手がなく孤独の中にいる人たちの、良き相談相手になっていこうとする市民の奉仕活動である。1953年ロンドンで始められ、現在では世界40ヶ国、数百万都市に設立されている。日本では、1971年に「東京いのちの電話」が開設され、今日まで東京、横浜、京都、大阪など30余りの都市に設立され、「日本いのちの電話連盟」を組織して各地でそれぞれ独自の活動をしている。

「名古屋いのちの電話」は全国で23番目の「いのちの電話」として1985年7月に開局し、現在150名余りのボランティアが年中無休の電話による心理的危機に対する援助活動に参加している。人間関係研究センターは、名古屋いのちの電話訓練委員会からの要請で、相談員養成講座の第一課程である人間関係基礎訓練のプログラムの立案と実施のコンサルテーションを行っている。継続研修、スーパービジョン、訓練委員としても関わっている。1986年7月には「名古屋いのちの電話」より感謝状の贈呈を受けた。

基礎訓練は「自己理解を深める」をねらいとして、一泊研修と、1回3時間のセッションを毎週1回、計8回の体験学習プログラムを立案、実施している。1985から1995年度には第2期生から第9期生（計293人）の基礎訓練を実施。また1996年度10月から12月には第10期生の基礎訓練を行った。

ねらい：「自己理解を深める」

- 自分の価値観（考え方や行動の特徴）に気づく。
- 自分のありのままを表現する。
- 相手のありのままを聴く。
- 対人関係（自分との、他人との）の中にある自分のあり方に気づく。
- 今、ここでの関係の中におこっていることに気づく。

この訓練は、電話相談員養成の目的で行われたものであるが、決して相談員となるための技能訓練ではない。社会の中で、人とのかかわりの中で、共に生きようとするときに、誰でも求められることからの訓練としてプログラムされたものである。生涯学習のための一つのプログラムでもある。

1986～1996年度コンサルテーション及び依頼事業

(順不同)

講 座 名	主 催
<p>電話相談コンサルテーション スクールODコンサルテーション リーダーとして備えるべきものは何か 情報を大切にしたい教育 人間関係及びグループリーダー研修等 出会い・ふれあい・結婚 ヘルスカウンセリング指導者養成講座 教師と生徒とのコミュニケーション の中でどこまで訊けるか 人と人とのコミュニケーションについて 青少年担当者・指導者養成事業 箱庭療法 箱庭療法研究会 人間関係トレーニング (Tグループ) 「おとしよりとの人間関係・チームワーク」体験学習 教師と生徒の人間関係 リーダーシップについて…理論と実践… 習熟度別学習指導について PFスタディーの理論と実践 人間関係トレーニング …自己理解・他者理解のために… 非行少年の箱庭 昭和63年春期アドバンスコース 患者理解を深めるために 箱庭療法ケースセミナー 人間関係をよくするために 女性が学ぶこと、ライフサイエンス カウンセリング講座 学校栄養職員研修会「リーダーシップの機能」 老人福祉関係職員等研修事業 勤労青少年リーダー養成研修会 企業経営＝職場でのコミュニケーション 私学協会教育相談研究会 サークル活動をデザイン 研修・研究の調査 女性講座 気づき重視トレーニングの科学的根拠をさぐる グループの中の人間関係 女性管理者養成講座 生徒指導のあり方 なごやかスタッフ養成研修 カウンセリングセミナー グループワークトレーニングの基礎知識 社内研修会「なぜ今“気づき”なのか」 名古屋市民大学「グループリーダーセミナー」 自主グループの研修会 ライフサイエンスのめざすもの 自分を知るプログラムの体験学習 ヒューマン・リレーションズ・ラブ 女性のための自己開発講座 青年リーダー養成講座 人間関係を豊かにするには 人間関係トレーニング 中堅看護婦として自己をふりかえり、 自分の立場を認識する よりよい人間関係を築くために なごや女性カレッジ 「おとしより・同僚と人間関係・チームワーク」 両親のためのコミュニケーション講座 ボランティア・リフレッシュ講座</p>	<p>名古屋いのちの電話 聖カピタニオ女子高等学校 東海理化労働組合 遠州カウンセリング研修会 名古屋市区社会教育センター 名古屋瑞穂青年の家 愛知県教育委員会 愛知県私学協会研究部 東海市教育委員会 愛知県総務部 財団法人関西カウンセリングセンター 兵庫教育大学生徒指導講座 遠州カウセリング研究会 名古屋市民生局 中部地区カトリック中・高等学校教職員教育研修会 愛知県労働部 香川県立小豆島高等学校 宝塚市立教育研究所 財団法人関西カウセリングセンター 大阪家庭裁判所 関西カウンセリングセンター 浜松市立看護専門学校 メンタルヘルス研究所、東京 戸塚協会名古屋支部 名古屋市教育委員会：名古屋市婦人会館 愛知県看護協会 名古屋市教育委員会 名古屋市民生局 愛知県労働部労働福祉課 名古屋商工会議所 愛知県私学協会 名古屋瑞穂青年の家 奈良県教育センター 春日井市いぶき会 名古屋市青年会議所 名古屋市婦人会館 日本経営管理協会中部支部 平和町立平和小学校 社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会 社会福祉法人あさみどりの会 東海市教育委員会 東海市立青少年センター MMC/マーケティング・マネジメント・センター 名古屋市生涯教育センター 婦人学習相談員グループ 名古屋青年税理士連盟 国立婦人教育会館 聖マーガレット生涯教育研究所 滋賀県立婦人センター 小牧市教育委員会 名古屋市母子施設連盟 厚生連中央看護専門学校 藤枝市立志太総合病院 三重県市町村保健婦協議会 名古屋市教育委員会 名古屋市厚生院 あらたまメンタルクリニック 岩倉市社会福祉協議会</p>

■ 社会人研修／人間関係研究センター1998年度事業予定

南山短期大学人間関係研究センター
The Center for the Study of Human Relations
of Nanzan Junior College

個性ある生き方と人間性豊かな社会をつくり出すために

私たちは一人ひとり豊かな人間性と独自の個性を持ったかけがえない存在です。ところが現代社会の中で私たちは役割の中に埋没し、互いに心を閉ざし、かかわり合うことをおそれ、人間をあたかも物の如くに扱い、自分も取るに足らぬ物としか感じられなくなっていないでしょうか。

人間関係の教育は、対話を通して自分の価値観や人生観をみがき、他者への思いやりと感受性を豊かに養い、一人ひとりが生かされるグループや共同体を形成し、人間疎外の社会を愛と信頼関係のおふれる人間尊重の社会へと変革することと、それらの担い手を育てることに取り組みます。

いまこそ本当に人間関係の教育が必要とされているのです。

人間関係研究センターでは今年度、下記のように研修・講座を予定し、多くの一人ひとりとともに学んでいきたいと願っています。

基礎研修

人間関係講座

「学ぶ」ということのイメージが大きく広がる、楽しみながら参加できる基礎的・入門的な講座です。

この講座のねらいは、生活の中の様々な場面で活かすことのできる「体験学習」という学び方を知ることと、自分自身の対話やコミュニケーション、関わりのある方を、参加者自身の体験を通して理解することです。

周到に準備されたいくつかの実習を個人や小グループで行うことを中心に、その体験をお互いに話し合ったりしながら、なごやかな雰囲気が進められます。

企業等に勤務する方、教育・医療の関係者、ボランティア活動家、主婦、学生など、自分自身のことや人間関係、そして広く社会の諸問題に関心をおもちの方が手始めに参加でき、また終了後には、それぞれの立場での応用も可能な体験学習の機会です。

2時間半の研修を毎週1回、10週で1コースになるように計画されています。

第51回人間関係講座（春期 土曜日 13:30～16:00）

1998年 5月9日／16日／23日／30日

6月13日／20日／27日

7月4日／11日／18

担当者 星野 欣生

第52回人間関係講座（秋期 木曜日 18:30～21:00）

1998年 9月24日

10月1日／8日／15日／22日／29日

11月5日／19日／26日

12月3日

担当者 伊藤 雅子

佐竹 一予

定員 各回とも30名

会場 南山短期大学

研修費 各回とも21,000円（消費税ならびに申込金2,000円を含む）

南山大学・南山短期大学コミュニティ・カレッジとの共催事業として行います。

専門研修

リーダーシップ・トレーニング

あなたは、リーダーシップはリーダーさんだけのものと思いませんか。世間には、自分はリーダーシップとは縁がないと思っている人が結構多いものです。でも、そうではないのです。私たちは普段の生活の中で、発言や行動をとおして、他人にさまざまな影響を与えています。リーダーシップとは、影響の総称であるということが出来ます。とすれば、あなたの発言や行動がすぐ隣の人に何らかの影響を与えている、その時、そこにリーダーシップが発生しているということが出来ます。

リーダーシップはあなたのものです。

この講座では、あなたの発言や行動が、まわりの人にどのような影響を与えているのか、そして、そのことがリーダーシップにどのようにつながっているのか、あなたの影響の与え方、いわばリーダーシップのスタイル（特徴など）、そして、リーダーシップとは何か……などについて学習していきます。

学習法は講義ではなく、体験学習の方式です。具体的には、ペアのチームを作って、相

互に相手チームを観察し、そこで観察したことを相手に知らせる（フィードバックする）ことで一人一人のリーダーシップのスタイル（特徴など）に気づいていくことになります。

担当者 星野 欣生・中村 和彦
日 程 後期 土曜日 6回 13:30～16:30
1998年 11月7日/21日/28日
12月5日/12日/19日
定 員 18名
参加資格 何らかの体験学習を経験したことのある方
(不明な場合はセンターまでお問い合わせ下さい)
会 場 南山短期大学
研 修 費 25,200円(消費税ならびに申込金2,000円を含む)

教師のための人間関係講座 ー体験学習を用いた教育から学ぶー

みなさんが子どもの時は、どんな気持ちで学校に行っていたのでしょうか？教師になる前、なっただけの頃、教育に対してどんな考えや感覚をもっていましたか？そして、今はどうでしょうか？

今日、学校教育の大切さがこれまで以上に叫ばれています。そこでは、子どもたちの心を育てること、子どもたち同士のかかわりを深めること、子どもと先生との関係や先生同士のチームワークのことなど、たくさんの人間関係の問題が起こり、その改善が必要になっているのではないのでしょうか。

この講座では、教育現場のみならず日常生活での自分自身の関わりも含めて、日頃の人間関係に目を向け、見直し、新しい視点や関わりを見つけていきたいと思っています。参加された先生方とともに、私たちは“体験学習”という方法を通して、教育についての新しい一歩を踏み出してみたいと考えました。お忙しい先生方に参加していただきやすいように、各回内容を変え、1回でも参加していただける形にしています。

* “体験学習”とは、1946年にアメリカで開発された学習者自身の体験をもとに自らが気づき、考える力を養うことを大切にする学習方法です。当時アメリカではラボラトリーメソッドと呼ばれ、教育者やリーダーなどが偏見の解消など民主的な風土づくりや人間中心の教育のために開発されたものです。

第1回 5/9(土) テーマ: グループ・プロセス

担当者: 津村 俊充・楠本 和彦

内 容: グループで活動する時に起こるさまざまな関係に目を向け、チームワークに大切なことは何か、グループへ関わるスキルを学びます。

- 第2回 6/13(土) テーマ：コミュニケーション・プロセス
担当者：山口 真人・楠本 和彦
内 容：コミュニケーションにおいて生まれるさまざまな出来事に目を向け、対話のスキル（聴き・話す）を学びます。
- 第3回 7/11(土) テーマ：セルフワーク
担当者：楠本 和彦・グラバア 俊子
内 容：個人としての自分、教師としての自分に目を向け、気づき、自分の教育を豊かにします。
- 第4回 9/26(土) テーマ：ボディワーク
担当者：グラバア 俊子・楠本 和彦
内 容：子どもそして、自分の存在を支える、もっとも大切なものは何か、からだの叡智に聴いてみます。
- 時 間 10:00～16:00（各回共通）
定 員 各30名
対 象 現在教職についている方。子どもや青年に対して教育的活動を行っている方。
（不明な場合はお尋ねください）
会 場 南山短期大学
研 修 費 各回 8,400円（消費税ならびに申込金2,000円を含む）

Tグループ（人間関係トレーニング）

Tグループは、1947年にアメリカで誕生した、自己、他者、グループを体験的に理解していくためのグループアプローチです。Tグループでは、10名ほどの参加者とスタッフ2名が1つのグループを構成します。75～90分ほどのTグループセッション（セッション後にはふりかえり用紙を必ず記入します）を10数回行い、集中的に“今、ここ”にある関わりを通して対人感受性を養ったり、人間関係の本質を理解しようとするものです。宿泊研修のプログラムの中には、実習を用いた体験学習や小講義、またグループと自分の変化・成長を確かめる全体会などもあります。

当センターでの研修は、アメリカで誕生したときの原型（今ここに生きること、プロセスから学ぶことなど）を大切にしながら、まさに人間一人ひとりを尊重する教育実践としてのTグループを行っています。Tグループは当センターにおけるすべての研修の核となるプログラムで、どなたでも参加できます。

特に、カウンセラーの方、カウンセラーをめざしている方、学校教育や企業内教育、生涯教育に携わっていらっしゃる方、福祉や医療など人間にかかわるすべての専門職の人々にとっては必須の体験と言ってよいでしょう。

担 当 者 楠本和彦・中堀仁四郎・中村和彦・中野清・津村俊充・山口真人
日 程 1998年 9月11日(金)～16日(水) 5泊6日
フォローアップ1998年 12月13日(日)〔南山短期大学にて〕
定 員 30名
会 場 (財)KEEP協会・清泉寮
〒407-0301 山梨県北巨摩郡高根町清里3545 TEL (0551) 48-2111
参 加 費 研修費73,500円(消費税ならびに申込金2,000円を含む)
滞在費は実費(55,000円程度)を別途徴収させていただきます。

トレーナー・トレーニング

このセミナーでは、人間関係の中で、学び生きることを促進するための態度と技能を、まさに体験を通して学びます。

Tグループを想定した状況の中で、参加者が交代で実際にトレーナー役を勤めたり、観察者としてグループ状況をフィードバックしたりしながら、メンバーやグループの理解や人間理解に加えて介入に関しての理解を深めます。

プログラムの中では随時、ベテラントレーナーを交えてのディスカッションやケーススタディなども交えながら、許容的な雰囲気の中で学習をすすめていきます。

期待される成果は

- ・カウンセリングなどの基本になる「受容」「共感的理解」「自己一致」や「人間尊重の姿勢」などを、自分自身の生きた姿で点検できます。
 - ・体験過程を促進する効果的な言葉かけや介入を学ぶことができます。
 - ・組織や学級運営に役立つグループプロセスを観察・診断するスキルを修得できます。
 - ・グループメンバーを尊重しながらグループを促進するように介入するスキルを修得できます。
 - ・自分自身の介入の問題点や可能性を探ることができます。
- *参加者の関心に応じて、ラボラトリーのデザインの問題や具体的なプログラミングの問題なども取り上げることができます。

担 当 者 津村 俊充・中堀 仁四郎・山口 真人
日 程 1999年 2月18日(木)～22日(月) 4泊5日
定 員 18名
参加資格 Tグループ、エンカウンターグループなどの構造化されていないグループ体験のある方、または、それらに準じた体験学習を経験しておられる方で、トレーニングスキルの修得を目的にしている方。(不明な場合はセンターまでお問い合わせ下さい)
会 場 (財)KEEP協会・清泉寮
〒407-0301 山梨県北巨摩郡高根町清里3545 TEL (0551) 48-2111

参加費 研修費92,400円(消費税ならびに申込金2,000円を含む)
滞在費は実費(45,000円程度)を別途徴収させていただきます。

TA入門(トランザクショナル・アナリシス)〈A・B〉

TA(Transactional Analysis)はエリック・バーン博士(1910-1970)により開発され、彼の仲間達とともに発展させられた心理療法の体系です。

TAは、「私たち誰もが基本的には“I'm OK, You're OK”の存在である」という考えに基づいています。“今、ここ”に気づき、自分のあり方を選びながら、自分がOKであることを確かめ、また相手とも肯定的な関係を作り出すための道具でもあります。

入門講座では、TAの基本的な考え方を理解し、体験学習の方法を用いて自己理解を深め、自己成長への手がかりをつかむことをねらいにしています。

担当者 中堀 仁四郎

日程 ・A:1998年 8月3日(月)～5日(水) 3日間集中(通い)

・B:1998年 10月31日(土)～11月2日(月) ”

いずれも9:30～17:00

A・Bの講座内容は同一です。

時間 9:30～17:30(A・B共通)

定員 各24名

会場 南山短期大学

研修費 30,450円(消費税ならびに申込金2,000円を含む)

TAによる自己啓発

TAは心理療法として発達しましたが、自分自身との関係や他者との関係の改善、楽しい職場や家庭づくりなどに大いに生かすことができます。

この講座では、TAを中心にして、ゲシュタルトセラピーやサイコシンセシスなどの考え方もとりいれ、自分自身や他者との関わりに焦点をあてて進めていきます。ゆったりとした環境の中で、グループで助け合いながら自分をふりかえったり、自分の可能性を探ったりして、エネルギーを充たす時としたいと思っています。

TA理論を学ぶよりも、自分自身に光を当て、自分の可能性を見つける機会となると思います。

担当者 中堀 仁四郎

日程 1999年 3月20日(土)～22日(月) 2泊3日

定員 16名

- 参加資格 TAの入門コース（当センターでなくてもよい）を経験されていることを望みます
会場 （財）KEEP協会・清泉寮
〒407-0301 山梨県北巨摩郡高根町清里3545 TEL (0551) 48-2111
参加費 研修費38,850円（消費税ならびに申込金2,000円を含む）
滞在費は実費（28,000円程度）を別途徴収させていただきます。

ホリスティック生命論ワーク

人が人らしく生死を過ごすために、医療・家庭や人の生命にまつわる科学技術・教育・社会・家庭の場では、どのような人間観や医療観が現代人の助けになるのでしょうか。

この講座では、以下のようなテーマとワーク（実習）を、体験学習によってすすめていきたいと思えます。

- ・「いのちのイメージと生命観」
ワーク：いのちの旗づくり LIFE FANTASY
- ・「バイオエシックス生命倫理と社会的コンセンサス」
ワーク：価値観と合意 正解のない答コンセンサス
- ・「医者患者家族関係コミュニケーションといわれる振舞い」
ワーク：聴く・話す・観のロールプレイ／素直な自己表現アサーティブトレーニング／
ノンバーバルコミュニケーション その1ボディワーク
- ・「日本・日本人・日本語とわたしのからだ」
ワーク：いろは・いのちの本音 音・言葉・思想・法
- ・「死のイメージ 生産看死と生老病死」
ワーク：AURA=SOMA
- ・「ライフサイエンスとライフファンタジー」
ワーク：ノンバーバルコミュニケーション その2イメージワーク

ホリスティックholisticとは、一つのものの観方生き方で、「全人的」とか「全包括的」とか「こころもからだもたましいも」まるごと生きた一つの全体系として、いのちや人や社会のかかわりを捉えていこうとする文明論的ことばです。

ギリシャ語源 holos(全体)は、whole(全)／heal(癒)／holy(聖)／health(健全)=heal+th(癒えた)+(状態)という意味をももたらしています。

- 担当者 まどか 庸代・グラバア 俊子
日程 後期 金曜日 6回 18:30～21:00
1998年 10月2日／16日／30日
11月6日／20日

12月4日

定 員 20名

会 場 南山短期大学

研 修 費 21,000円(消費税ならびに申込金2,000円を含む)

南山大学・南山短期大学コミュニティ・カレッジとの共催事業として行います。

カウンセリング的対話

この講座では、コミュニケーションやカウンセリングの実習を行い、そこでの体験を通じて自分自身の聴き方について気づきながら、日常の対話の中で相手の話を共感的に聴く能力(感受性)を高めることを目的にしています。

講座の中では、コミュニケーションの実習を通して、自分の体験から自分自身の聴き方の特徴やあり方を見つめていきます(したがって、カウンセリングについての講義は最小限になります)。子どもの声をうまくキャッチできないと感じている方や、友達や同僚の悩みをもっとうまく聴きたいと感じている方など、日常の中でのカウンセリングマインドを身につけたいと思っている方にお勧めです(カウンセリングの専門家を育てるコースではありません;あくまでも日常の中でのカウンセリング的関わりができることをねらいにして講座を進めていきます)。

すでに当センターの「人間関係講座」を受講された方にとっては、その講座のアドバンスコースとして受講していただけたらと思います。

* 実習「ミニ試行カウンセリングⅠ」では対話をテープに録音し、逐語録を時間外で作成していただきます。逐語録の作成には時間と労力がかかります。受講される場合にはご了承ください。

第1回 ねらいの共有化

第2回 実習「How do you feel the counselor?」

第3回 カウンセリングと対話についての講義

第4回 実習「たずね、こたえ、観察する」

第5回 実習「ミニ試行カウンセリングⅠ」の実施

第6回～第10回 「ミニ試行カウンセリング」のグループによる検討

第11回 実習「ミニ試行カウンセリングⅡ」

第12回 実習「私のカウンセリング理論作り」

担 当 者 中村 和彦・楠本 和彦

日 程 前期 木曜日 12回 18:30～21:00

1998年 4月30日

5月7日/14日/21日/28日

6月11日/18日/25日

7月2日/9日/16日/23日

定 員 20名
会 場 南山短期大学
研 修 費 45,150円(消費税ならびに申込金2,000円を含む)

ユング心理学

ユング心理学の分野は幅広く、その理論は難解で、解説書によって受動的に理解するにとどまりがちです。

この講座では、講義によってユング心理学について学ぶのではなく、ユング心理学の考えを軸にして、自分自身についての気づきと理解を深めることを試みようと思います。

具体的にはラボラトリー・メソッドを用い、用意された実習の中で自己表現をしたり、話し合ったりしながらすすめていきます。ペルソナとシャドー、およびタイプなどをテーマにプログラムを考えています。

能動的に参加し、体験を通してこれまで知らなかった自分に出会っていきましょう。

担 当 者 木村 晴子
日 程 1998年 7月25日(土)～27日(月) 3日間集中(通い)
定 員 24名
会 場 南山短期大学
研 修 費 30,450円(消費税ならびに申込金2,000円を含む)
南山大学・南山短期大学コミュニティ・カレッジとの共催事業として行います。

クリエイティブアート・セミナー

皆さんは「創造性」という言葉を聞いて、何を連想しますか？

創造性とは一言でいうのは大変に困難ですが、誰もが生まれながらに持っている力です。毎日の生活で、私たちは様々な形でこの創造性を使っています。料理を作ったり、掃除をしたり、あるいは書類を作ったり、会議を企画したりといったところにも、一人ひとりの創造性が使われています。この創造性が、時にはいろんな状況によって解放されずに押し込まれてしまうことがあります。自由な気持ちで自分を解放しようとするとき、多くの場合、自分の内からあるいは外部からの抑圧を受けたりします。

この講座では、フォーレンス・ケーンのThe Artist In Each Of Usという本の中で実際に紹介されている自分が持つ感覚、動き、リズムを用いて自由な表現活動を行う体験をします。また遊びや創造には必要不可欠である想像力を用いた創作活動を行います(例えば今までは絵本作りや指人形作りでした)。

一人ひとりの創造性が自由に解放され、外へと開かれ、再び内へと受けとめられることで、自己

理解が深まることをねらいとします。

担当者 伊東 留美
日程 1998年 7月31日(金)～8月2日(日) 3日間集中(通い)
定員 20名
会場 南山短期大学
研修費 29,400円(消費税ならびに申込金2,000円を含む)
南山大学・南山短期大学コミュニティ・カレッジとの共催事業として行います。

ボディーワーク・セミナー

今年のテーマは『ネイチャー・セラピー』。

日本の原風景を思わせる山村・小原村の自然が先生です。このセミナーは新しい何かを学ぶというより、すべてつながり共にある存在のネットワークに立ちもどる道の草刈りをするようなものです。

炭焼き(?)、野草料理など、地・水・火・風を再認識したいと思います。

いのちという根源までもどって、自分の中の水が外の水と交流し他のいのちと響きあった時、何か癒しということが起きるのではないのでしょうか?

山小屋風に、皆で一つの部屋に泊まることになると思います。

地球の美しさについて深く思いをめぐらせる人は、生命の終わりの瞬間まで、生き生きとした精神力をたもちつづけることができるでしょう。鳥の渡り、潮の満ち干、春を待つ固いつぼみのなかには、それ自体の美しさと同時に、象徴的な美と神秘がかくされています。自然がくりかえすリフレイン—夜の次に朝がきて、冬が去れば春になるという確かさ—のなかには、かぎりなくわたしたちをいやしてくれるなにかがあるのです。

(レイチェル・カーソン「センス・オブ・ワンダー」より)

担当者 グラバア 俊子
日程 1998年 8月7日(金)～9日(日) 2泊3日
定員 20名
会場 風の豊与(グラバア邸) 愛知県小原村
名古屋駅から公共交通機関で約2時間、名古屋I.Cから車で約45分
参加費 研修費38,850円(消費税ならびに申込金2,000円を含む)
宿泊費は別途徴収させていただきます(10,000円程度の予定です)。

ドストエフスキイを読もう

世界文学の中でも独特の位置を占めるドストエフスキイの作品は一度は読んでみたいものの一つでしょうが、これに一人で挑戦するのはなかなか困難なことです。大抵登場人物の名が途中でわからなくなったり、肝心の筋がどうなっているのかに戸惑うことがあることと思います。しかし、グループで読んでみると、自分とは違う読み方があるのに気づいたり、他の人もやはり自分と同じような疑問をもっていることがわかったり、自分とは違う物の考え方を教えられたりします。こうしたグループでの読書の長所を生かしながら、時に講義を交えて、ドストエフスキイを読み解いていきたいと思います。じかに、自分の眼でドストエフスキイの作品に触れ、格闘することによって、そこに描き出されている人間の心理、性格、思想をもとにして、人と人との関係や宗教、人生をいかに生きべきかの諸問題を語りあいたいと思います。ドストエフスキイが好きな人、一度挑戦してみたい人、どうも好きになれない人、ちょっと知ってみたい人はどうぞお集まり下さい。

本年は昨年度の続きでドストエフスキイの『悪霊』を読みます(第2部第9章より)。途中からでも参加を希望される方はいらして下さい。今年度中に読み終える予定です。

担当者 大森 正樹

日 程 土曜日 16:00~18:00

1998年 4月18日

5月16日/30日

6月13日/27日

7月11日

9月26日

10月17日

11月7日/21日

12月5日/19日

1999年 1月9日/23日

定 員 若干名

会 場 南山短期大学

研 修 費 1,050円(消費税含む) その他資料代・茶菓代実費

テキストは新潮文庫版。各自で用意してください。

聖書深読入門

聖書を読む場合には、もっと必要なものは心です。それも人生の心理を求める心です。その両方を生かす読み方が聖書深読法です。そこではさらに共に神に向かう心、すなわち祈りの心を育むことが目的です。つまり聖書深読黙想になることを目指す聖書の読み方です。もちろん聖書もひとつの本ですから、文字を理解するための勉強が必要です。しかし聖書は学者のために書かれたもので

はなく、すべての人の救いのためのものです。ということは、聖書を心で読むことが大切であるということです。

ここでは、ただ単に知識に基づく「正しい読み方」だけではなく、心の中での「深い読み方」に達しなくてはなりません。聖書深読法は、主として後者に基軸をおいた読み方です。なぜなら人間の知能には差がありますが、神の感覚においては誰もが深い直感を持っているからです。このことは今までの聖書深読の集まりで何度も体験しました。特に、他のキリスト教の方たち、プロテスタント、聖公会、ロシア正教、また禅僧の方や自称無宗教といわれる方たちからも多くを教えられました。

聖書や他宗教の聖典は、どの人の心にも通ずる深い真理を見い出させてくれます。宗教宗派の壁をこえて、そこで一つになることは本当にすばらしい神の恵みです。聖書を通して、浅い交わりではなく深い出会いが与えられますように。

(参考資料：奥村一郎著「聖書深読法の生いたち－理念と実際－」オリエンズ宗教研究所刊)

担当者 奥村 一郎

日 程 ・ A：1998年11月18日(水)

・ B： 11月19日(木)

1日で1コースです。A・Bは単独でも両方でもお申込可能です。(取り扱う箇所は異なります)お申込みの際は、A・Bを明記してください。

定 員 各20名

会 場 南山短期大学

研 修 費 各1,050円(消費税含む) その他資料代・茶菓代実費

【問い合わせ先】南山短期大学人間関係研究センター

TEL 052-832-6214

FAX 052-832-6210

南山短期大学人間関係研究センター規程

第1条 本学に南山短期大学人間関係研究センター（The Center for the Study of Human Relations of Nanzan Junior College）（以下「センター」という。）をおく。

第2条 センターは、キリスト教的人間観に立って広く学際的・行動科学的に人間・人間関係の研究および研修を行うことを目的とする。

第3条 前条の目的を達成するために、次の各号の事を行う。

- 1 人間・人間関係に関する研究と教育の推進
- 2 センターと目的を共通にする学外研究機関との協力
- 3 地域社会における開かれた大学としての諸機能を果たすために研究会・研修会等の開催および個別的相談・指導・援助等
- 4 研究成果の刊行および文献・資料の収集と一般への公開
- 5 その他センターの目的達成のために必要と認める事業

第4条 センターに研究員を置き、そのうち1名をセンター長とする。

② 研究員およびセンター長は学長が委嘱する。

第5条 センター長は、センターの事業を掌理し、センターを代表する。

第6条 センターは、必要に応じて顧問、相談員および講師をおくことができる。

第7条 センターは、その目的にそって研修しようとするものを研修生として受け入れ指導・援助を行う。

② 研修生についての規程は、別に定める。

第8条 センターに事務職員をおく。

② 事務職員は、センター長の指示をうけてセンターの事務を担当する。

付 則

本規程は、昭和52年9月30日より実施する。

南山短期大学人間関係研究センター研究員

（1997年4月～1998年3月）

センター長 伊藤 雅子

研究員 グラバア俊子 樋田大二郎 星野 欣生 市瀬 英昭 伊東 留美

河津 雄介 木村 晴子 楠本 和彦 まどか庸代 文珠紀久野

中堀仁四郎 中村 和彦 中野 清 大森 正樹 R.A.メリット

鈴木 貞雄 竹内 敏晴 津村 俊充 山口 真人 （A B C順）

事務局 大竹 由夏

編集後記

今回の紀要は「大学における人間性教育」という特集を計画した。ということはそのテーマは、人間関係科においてこれまで試みられてきた様々の教育を、「大学」という場での教育として見たとき、どのような様相のもとにまとめあげられるかという期待に基づいたものであるということである。つまり様々な教員が、各々の授業を通して狙っていることは、一口に言って「人間性」を目指した教育だということになる。そしてその「人間性」ということが、どういう意味で使われているかが、ここに集められた諸論文によって、表現されておれば幸いである。大学の改革が叫ばれて久しいが、諸大学において、それがどの程度実現しているか、はなはだ心許ないことだと思う。組織やそとみのことは改革のしようがあるが（それもしないよりする方がましかもしれないが）、なにかみになるとなかなか教員の歩調は揃わないのである。人間関係科が完全に歩調が揃っているとは勿論言えないが、絶えず連絡し、教育内容について論じあっている現状からすれば、大学教育のなにかみを改革している現場と言っても、言い過ぎではないだろう。ここでやっていることがすべてというわけでは、勿論ない。あくまで一つの試みである。そうしたいくつかの試みの土台にしながら、一步一步歩いていく以外に、教育の現場を変革していくことはできないであろうと思う。いつものことだが、そのためのささやかな内省の結果がここに見られると思いたい。

特別研究会には平山恵先生をお招きして、そのお話をうかがった。命をかけた仕事の実体験に基づくお話は、聞く者の関心を惹きつけてやまず、いろいろな質問や意見が出たことは大変有益であった。これからも様々な刺激をいただきたいと願っている。この紀要を読まれる方も、同じように感じていただければ、ここに収録した意味があったと言えよう。

桜の咲く前にこの紀要を届けることが出来そうで、編集委員一同、肩の荷を降ろしているところです。

(大森正樹記)

人間関係 創刊号 1984

人間関係 第2・3号 合併号 1985

目次

特別講演	コンテンション・シー理論について—現状と課題—	野中郁次郎	2
特集	「Tグループ」		
	JICEラボラトリー・トレーニングの変遷(その1)	中野信四郎	11
	高等教育におけるTグループの実践	星野欣生・山口真人	36
	人間関係Tグループ実践をめぐって	座談会	77
	Tグループによる学習過程理解のための方法的研究①		
	一学生の形存具表現による習得理解への多次元のプロローグ	津村俊光	90
	Tグループに於ける女性		
	一規範と性別による問題点—	KANTER・倉澤俊三	99

事業報告 (1977年～1983年)

I 研究会

1.	「コンテンション・シー理論について」	野中郁次郎(福大)	108
	—現状と課題—		
2.	「大学教育におけるTグループ適用の試み」	星野 欣生(南山短大)	109
	—教育の革新を求めて—	山口 真人(南山短大)	
3.	「これからのコンセンシングのあり方」	小林 純(上智大)	111
4.	「わたしの歩んできた道」	高田 徳樹(上智大)	113
5.	「ヒューマニスティック・エデュケーションの動向と自己成長への身体的アプローチ」	グラハム・僕子(南山短大)	116
6.	「フーバーと教育—我と汝を中心にして—」	義行寺 功(金沢大)	118
7.	「With-nessということ」	星野 欣生(南山短大)	120
	—教師・学生関係について—		
8.	「関係の神学」	奥村一郎(聖母女学院短大)	122
9.	「教育を考えたらず」	伊東 博(慶応義塾大)	126
10.	「からだ、ことば」	竹内敏晴(高城教育大)	128

II 社会人研修

1.	人間関係基礎研修講座	132
2.	人間関係専門研修講座	134
3.	人間関係特定研修講座	137
4.	社会人研修参加者統計	140
5.	1984年度社会人研修予定	141

III 南山短期大学人間関係研究センター—規程—

		142
--	--	-----

IV 南山短期大学人間関係研究センター—研究員—

		143
--	--	-----

目次

特別研究会	人間関係の教育—	河合 雄雄	2
-------	----------	-------	---

特集

1.	高等教育における体験学習		
	—南山短期大学人間関係科の教育の概観—	星野 欣生	39
	—10年の歴史と展望—		
2.	人間関係科における教育の試み	R. A. メリット	47
	—見直された体験学習—		
3.	「人間関係科」による「体験学習」	岡原 光	64
	—トレーニングから学習へ—		

II 南山短期大学人間関係科の10年

1.	教育の質		
	—年次の履修の流れ—	宮本 隆	83
	1) キリスト教概論Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ	宮本 隆	84
	2) 人間関係概論A, B	岡原 光	89
	3) 人間関係基礎論Ⅰ(哲学的基礎・問演習)	倉澤 俊三	95
	4) 人間関係基礎論Ⅱ(心理学的基礎・問演習)	グラハム・僕子	100
	5) 人間関係基礎論Ⅲ(社会的基礎・問演習)	山口 真人	106
	6) 人間関係研究法(その1)	星野 欣生	114
	7) 人間関係研究法(その2)	星野 欣生	117
	—フェルディナント・トウソフ—		
	—年次の履修の流れ—		
	8) 人間関係各論Ⅰ(家庭に関する領域)	伊藤 雅子	123
	9) 人間関係各論Ⅱ(組織・集団に関する領域)	山口 真人	132
	10) 人間関係各論Ⅲ(文化に関する領域)	高田 徳樹	136
	11) 人間関係各論Ⅳ(教育に関する領域)	R. A. メリット・倉澤俊三	141
	12) 人間関係各論Ⅴ(援助法に関する領域)	グラハム・僕子	145
	13) 人間関係総合実習(含修)	山口 真人	150
	14) 人間関係実習Ⅱ(卒業研究)	星野 欣生	156

2. 学生の学びとその軌跡

1.)	在学2年間で卒業後5年間の個人の成長記録から	倉澤 俊三	162
	—卒業生の進路調査から—	津村 俊光	179
3.	人間関係科に新しくかわる教員として		
	1) 教師と学生のかかわり方めぐって	木村 晴子	205
	—心霊探偵分野の教員として—		
	2) 「体験学習」を習得する	中野 信	208
	—体験と知とコトバ、知の循環を求めて—		

採 録 JICEラボラトリー・トレーニングの変遷(その2)

		中野信四郎	217
--	--	-------	-----

事業報告 (1984年)

I 研究会

1.	「もう一つの主婦層—商店のみかみと人たち」	天野 正(福大)	269
2.	人間関係科における体験学習	グラハム・僕子(南山短大)	271
	—教員の十二年間—		
3.	体験学習と理論学習をめぐって	中野 信	273
	—質点をめぐって—		

II 社会人研修

1.	人間関係基礎研修講座	277
2.	人間関係専門研修講座	279
3.	人間関係特定研修講座	281
4.	コンサルテーション	283
5.	社会人研修参加者統計	285
6.	1985年度社会人研修予定	286
III	南山短期大学人間関係研究センター—規程—	288

人間関係 第4号 1986

目次

特別研究会	人間関係と自己表現	竹内 敏晴	2
-------	-----------	-------	---

特集 「自己表現」

I	自己表現ワークショップからの報告		
	自己表現ワークショップの概要	山口 真人	33
	ワークショップ1「私の仮面作り」	木村 晴子	36
	2「自由に踊ろう、感ずるままに!」	会沢 俊三	48
	3「クリエイティブ・ペインティング」	山口 真人	50
	4「オイル・ドローイング」	グラハム・僕子	53
	5「情熱とスベイン舞踏—感得と表現—」	まどか 麗代	71
	6「絵本づくり—誕生—」	文殊紀久野	88
II	自己表現をめぐっての考察		
	1. チームづくりと自己表現	星野 欣生	93
	2. 神秘体験にみる自己表現	大森 正樹	98
	3. 現代文化と自己表現	樋田大二郎	102

ミニレクチャー

体験学習	とは何か	星野 欣生	109
プロセスとは何か		津村 俊光	116
コミュニケーション・プロセス		山口 真人	120
邦訳ミニレクチャー			
センシビリティ・トレーニングとは何か	Charles Seashore(津村俊光訳)	125	
グループ・その誕生から死までのサイクル	Richard C. Weber(津村俊光訳)	130	

レポート

人間関係研究センター—社会人研修			
「人間関係基礎研修の理論と実際」	津村 俊光	137	
実証研究員から報告			
「私の人間関係体験学習の中で」	高平百合子	150	

事業報告 (1986, 1986年度)

I 研究会

1.	「今日からみた人間関係科創設の意義」	津田 慶博	153
2.	「スペインにおける生命倫理研究の現状」	まどか 麗代	155

II 社会人研修

1.	人間関係基礎研修講座	158
2.	人間関係専門研修講座	159
3.	人間関係特定研修講座	162
4.	コンサルテーション	164
5.	社会人研修参加者統計	166
6.	1987年度人間関係研究センター—事業予定—	167
III	南山短期大学人間関係研究センター—規定—	169

人間関係 第5号 1987

目次

巻頭言		星野 欣生	
特別研究会	「学習者を中心にすえた教育のあり方めぐって」	河津 雄介	2

特集/グループの中に生きる

1.	個を生かす集団・集団を生かす個	星野 欣生	45
2.	キリスト教における個と集団	市瀬 長昭	50
3.	現代科学における個と集団の問題をめぐって	まどか 麗代	55
	—原子論からバイオエレクトロニクスの発想まで—		
4.	人間関係科の教育における個と集団	山口 真人	69
	—関係に定化した教育の実現をめざして—		
5.	「個」と「集団」	樋田 彰	77
	—合流教育実践からの考察—		
6.	チームづくりのトレーニングと組織開発	星野 欣生	91
	山元由美子		
	猪俣 京子		
7.	企業内研修におけるグループ・トレーニング	松本 寛之	121
	田辺 直		
8.	南山短大における集団不適応	木村 晴子	130
	—学生相談室開設に向けての報告—		

ミニレクチャー

援助するということ	竹内 敏晴	139	
態度価値と責任性存在	大森 正樹	144	
対人感受性の開発	山口 真人	149	
	—人間関係トレーニングの原理と実際—		

レポート

NTLにおける最近のラボラトリー・トレーニング	津村 俊光	157
-------------------------	-------	-----

事業報告 (1987年度)

I. 研究会

		171
--	--	-----

II. 社会人研修

1.	人間関係基礎研修講座	175
2.	人間関係専門研修講座	178
3.	人間関係特定研修講座	180
4.	コンサルテーション	183
5.	社会人研修参加者統計	185
6.	1988年度人間関係研究センター—事業予定—	186
III	南山短期大学人間関係研究センター—規定—	190

目次

巻頭言... 伊藤 雅子
特別研究会: 「自己との対話 十年の回」... 柳田 聖山... 1
「水月の極意付り中墨のこと」... 上原 輝男... 36
特集/対話
1. 対話の生... 宮本 佳... 49
2. からの対話... 竹内 敏晴... 57
3. Cross Cultural 'Dialogue' in the Age of Commodity Culture... R. A. メリット... 72
4. 典礼一神と人との対話... 市瀬 英昭... 89
5. 神との対話としての祈りとアイコン... 大森 正樹... 93
6. 聴くということ... 木村 晴子... 97
7. 専門化社会とおせっかい... 樋田大二郎... 103
-教師と生徒の対話についての一考察-
8. 科学者と宗教人との対話... まどか庸代... 115
投稿: [翻訳] 人間学... O. マルカード (中野 清訳)... 127
レポート: 教師のためのセミナー... 山口 真人... 147
ミニレクチャー:
アクション・リサーチ... 星野 欣生... 155
人間関係の宴幕... 山口 真人... 160
-社会的感受性と人間関係のスキル-

事業報告 (1988年度)
1. 人間関係基礎研修講座... 168
2. 人間関係専門研修講座... 171
3. 人間関係特定研修講座... 177
4. コンサルテーション... 180
5. 社会人研修参加者統計... 182
6. 1989年度人間関係研究センター事業予定... 183
南山短期大学人間関係研究センター規定... 187

目次

巻頭言... 津村 俊充
特別研究会: 「体験学習とキリスト教教育」... 坂口 順治... 1
特集/Tグループ再考
1. Tグループの論理... 中堀仁四郎... 35
2. Tグループと霊性教育... まどか庸代... 49
3. Tグループに関する2つの考察... 木村 晴子... 60
4. ラボラトリー教育におけるプログラミングについての考察... 津村 俊充... 67
-Tグループを中心とした教育実践に向けて-
5. トレーナーになること... 星野 欣生... 79
6. 対話的教育-M, プーバーの教育論をめくって... 宮本 佳... 89
7. 学生にとってのTグループの意味... 文珠紀久野... 99
8. Tグループに思う
(1) 速い気づき... R. A. メリット... 136
(2) Tグループトレーニングの場を産むとき... 會澤 俊三... 138
(3) Tグループで思うこと... 大森 正樹... 141
(4) Tグループトレーニングの経験と家族... 伊藤 雅子... 143
(5) Tグループ実践への提案... 津村 俊充... 146
-私のTグループ体験から-
(6) wendepunkt-私のTグループ... グラバア俊子... 150
(7) Tグループ履感... 竹内 敏晴... 153
レポート: Tグループの実際... 浜本孝子・河原紀久子... 155
南山短期大学人間関係科でのTグループ合宿の動向... 星野 欣生... 173

ミニレクチャー:
Tグループ... 山口 真人... 179
TグループQ&A... 星野 欣生... 189
人間関係とフィードバック... 津村 俊充... 199
効果的なコミュニケーションのための5つの要素... 中堀仁四郎... 203
事業報告 (1989年度)
1. 社会人研修概要... 209
2. 人間関係基礎研修講座... 210
3. 人間関係専門研修講座... 213
4. 人間関係特定研修講座... 215
5. コンサルテーション... 217
6. 社会人研修参加者統計... 219
7. 1990年度人間関係研究センター事業予定... 220
南山短期大学人間関係研究センター規定... 225

目次

巻頭言... 星野 欣生
特別研究会: 「日本に於ける生涯学習の動向」... 那須野藤... 1
特集/生涯学習の実践 一学びてなまにー
1. 生涯学習と体験学習... 星野 欣生... 41
2. いま生涯学習に期待されるもの... 伊藤 雅子... 55
-生涯学習と体験学習の人間関係教育-
3. 第二の大航海時代の生涯学習... グラバア 俊子... 81
4. 生涯の大事... 竹内 敏晴... 94
5. 生涯教育方向性... リチャード・A・メリット... 100
6. 「生涯学習」観... 河津 雄介... 103
7. 人間関係基礎研修の理論と実際... 津村 俊充... 106
8. ボランティア活動と生涯学習... 貴木明子・山口真人... 119
-いのちの電話活動におけるボランティア相談員の成長-
9. セルフ・サイエンス... 津村 俊充... 130
-自己認識を深めるためのトレーニング-
10. ドストエフスキーを読む... 大森 正樹... 139
-大人の読書会をやって-
11. 想起-礼拝における学び... 市瀬 英昭... 142
12. 体験を通して「からだところ」の健康づくり... 石田 幸栄... 146
13. 「体験学習」と自己理解... 寺西佐植代... 150
-一学生から教師という立場になって思ったこと-
14. 私の教育メモ... 吉川 房枝... 154
ミニレクチャー:
体験学習と学習ジャーナル 一自己理解を深めるためにー... 津村 俊充... 159
介入ということ 一構造化された実習においてー... 星野 欣生... 167
ふりかえりについて 一体験学習においてー... 星野 欣生... 173

事業報告 (1990年度)
1. 社会人研修概要... 177
2. 人間関係基礎研修講座 (一般研修)... 178
3. 人間関係専門研修講座 (継続研修)... 181
4. 人間関係特定研修講座... 183
5. コンサルテーション... 185
6. 社会人研修参加者統計... 187
7. 1991年度人間関係研究センター事業予定... 188
南山短期大学人間関係研究センター規程... 193
あとがき 一生涯学習制度化の歴史ー... まどか庸代... 194

目次

巻頭言... 中堀 仁四郎
特集/からだ
1. 開談: 折るからだ... (竹内敏晴・大森正樹・中野清)... 1
2. 「奇跡物語」にみる「からだ」の変容... (市瀬英昭)... 36
3. 「表現するからだ」走り書き... (竹内敏晴)... 46
4. 「自己理解の手がかりとしての「からだへの気づき」... (寺西佐植代)... 51
特別研究会: 「内側からみる」... (佐伯 酔)... 61
研究ノート:
授業記録: 人間関係理論 (1989-90年度)
~学生とともに人間関係の原点をさぐる~
(竹内敏晴・山口真人・グラバア俊子・中野清)... 107
教育に目的があって、情熱を抱いてはいけないのか
グランド・ストーリーなきあとの教育... (樋田大二郎)... 147
ファジィとラボラトリー (体験学習)... (星野欣生)... 166
ミニレクチャー:
成長するための「枠」-人間教育のひとつの意味-... (木村晴子)... 175
コミュニケーションのプロセスとその障害要因... (津村俊充)... 181
非言語コミュニケーション-からだの語ること-... (グラバア俊子)... 188

事業報告 (1991年度)
事業概要... 193
社会人研修
1. 人間関係基礎研修講座 (一般研修)... 194
2. 人間関係専門研修講座 (継続研修)... 197
3. 人間関係特定研修講座... 198
4. 社会人研修参加者統計... 199
コンサルテーション... 200
1992年度人間関係研究センター事業予定... 202
南山短期大学人間関係研究センター規程... 209

目次

巻頭言 木村 明子
特集/人間教育の核心-学ぶこと・変わること
1. 林竹二先生について (竹内敏晴・尾野敬生・米沢隆治) ... 1
2. Tグループにおける集団と個の变化
-参加者の気づきと学びを中心にして- (津村俊光) ... 39
3. 性格は「変わる」?
-「ゆらぎ」構造に目を向けて- (大森正樹) ... 89
4. 傍観者から共感者へ (伊藤雅子) ... 95
特別研究会:「人間科学の方法論」 (村上隆 郎) ... 103
ミニレクチャー:
人間関係トレーニングにおける人間成長への変容モデル (津村俊光) ... 139
より効果的なトレーニングに向けて ... Milstein M.M. ... (津村俊光訳) ... 146
事業報告 (1992年度)
事業概要 153
社会人研修
1. 人間関係基礎研修講座(一般研修) 154
2. 人間関係専門研修講座(総統研修) 156
3. 人間関係特定研修講座 159
4. 社会人研修参加者統計 160
コンサルテーション 161
1993年度人間関係研究センター事業予定 163
南山短期大学人間関係研究センター規程 172

目次

巻頭言 中野 尚
In memoriam 高原光先生 R.A. ...
特集/自己実現
1. 「女性として生きる不安」を越えて
-女性の自己実現のための課題をめぐって- (伊藤雅子) ... 1
2. ひとり立つこと
-表現と自己実現- (竹内敏晴) ... 15
3. 大学の自己点検・評価と組織の活性化
-組織の自己実現に向けて- 尾野敬生 ... 25
1. 自己実現の目指すもの (大森正樹) ... 34
特別研究会「内面世界と自己意識」 (梶田敏) ... 39
レポート 精神科クリニックでの体験学習の試み
-出現のためのコミュニケーション講座- 西尾信代・中嶋仁(西澤) ... 83
ミニレクチャー
「白開 見に如かず、ってほんとう?」 (津村俊光) ... 97
事業報告 (1993年度)
事業概要 103
社会人研修
1. 人間関係基礎研修講座(一般研修) 104
2. 人間関係専門研修講座(総統研修) 107
3. 人間関係特定研修講座 110
4. 社会人研修参加者統計 111
コンサルテーション 112
1994年度人間関係研究センター事業予定 114
南山短期大学人間関係研究センター規程 122

目次

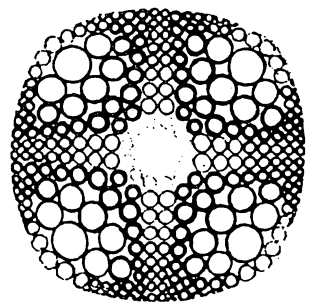
巻頭言 竹内敏晴
特集/愛
1. 家族と愛
-結婚の社会的考察をめぐって- (伊藤雅子) ... 1
2. 恋愛と人格
-その西歐的かたち- (大森正樹) ... 10
3. 愛の役割
-マザー・テラサとシスターたち- (竹内敏晴) ... 16
研究ノート:体験学習を用いたグループと個人の成長のための教育実践
-『人間関係プロセス論』の授業報告- (伊藤雅子・津村俊光・大塚弥生・中村和彦) ... 37
特別研究会:「大学教育のあり方」
-「何を」教えるかではなく「どのように」 (上田友章) ... 159
ミニレクチャー・翻訳:
1. コントロールからファシリテートへ
-組織の中でいかにL. E. A. D.(リード)するか- (尾野敬生) ... 191
2. 人間としてのトレーナー
-ベストな介入行動を開発するための重要な視点について- (津村俊光) ... 203
事業報告 (1994年度)
事業概要 211
社会人研修
1. 人間関係基礎研修講座(一般研修) 212
2. 人間関係専門研修講座(総統研修) 213
3. 人間関係特定研修講座 214
4. 社会人研修参加者統計 216
コンサルテーション 217
1995年度人間関係研究センター事業予定 219
南山短期大学人間関係研究センター規程 228

目次

巻頭言 大森正樹
レポート
1. 現代青年の老人理解へ教育的冒険
-平成7年度授業、人間関係各論「人間と発達」の自己点検と評価をかねて- (村合優平・津村俊光) ... 1
2. Memory of Gravity (川浦佐知子) ... 19
特集/いのち
1. いのちにたどり着くまで
-からだの教習が導いた所- (グラバア俊子) ... 25
2. 生命(いのち)の実感と脳而非ヒューマニズム (大森正樹) ... 35
3. いのちのとき (伊藤雅子) ... 41
4. 生命力と創造力
-ミケランジェロの「アダム」の創造を通して- (伊東留美) ... 50
5. 「セツァンの養人について」を読む
-95年度「表現による自己成長」の授業にて- (竹内敏晴) ... 61
6. 父 農野居士にある和学
-INTERVIEW 国際・社会・改革 親のいのちを号って- (まどか出代) ... 69
特別研究会:「医療と人間関係」 (中川米造) ... 95
研究ノート:Tグループを用いた人間関係・トレーニングの教育実践
..... (山口真人・津村俊光・尾野敬生・中野尚・中村和彦・森崎敬宜) ... 127
ミニレクチャー
ババリー・ガウチ
プロセッシングのための問いかけ
-体験学習の過程を完成させるための助けとして- (津村俊光訳) ... 207
事業報告 (1995年度)
事業概要 219
社会人研修
1. 人間関係基礎研修講座(一般研修) 220
2. 人間関係専門研修講座(総統研修) 221
3. 人間関係特定研修講座 223
4. 社会人研修参加者統計 224
コンサルテーション 225
1996年度人間関係研究センター事業予定 227
南山短期大学人間関係研究センター規程 236

目次

巻頭言	楠本和彦
レポート：各論「ボディ・ワーク」を受けて (赤堀八千代・野田勝子・金森久代・伊東留美) ...	1
特集「人間関係原論」	
(はじめに)	(大森正樹) ... 29
1. 新しい学問形成過程への試論：「人間関係の原論」	(まどか蛭田庸代) ... 31
2. 体験学習方式による人間関係原論の意義と今後の課題	(中村和彦) ... 36
3. 「人間関係原論」のキリスト教的背景	(市瀬英昭) ... 42
4. 「繋がりというテーマをあたえられて」	(中堀仁二郎) ... 51
5. 心理臨床の分野から人間関係原論に関わって - “つながりの心理学” から -	(木村晴子) ... 56
6. 「学ぶ、かかわる、成長する」	(星野欣生) ... 60
7. 授業記録 1990～1991年度	(津村俊充) ... 66
8. 授業記録 1993～1994年度	(伊藤雅子) ... 85
9. 授業記録 1991～1992年度	(まどか蛭田庸代) ... 110
10. 授業記録 1994～1995年度	(星野欣生) ... 123
11. 考察と今後の問題	(大森正樹) ... 148
特別研究会：「宗教と人間存在」	(上田閑照) ... 151
研究ノート：体験学習を用いたコミュニケーション能力の開発と個人の成長のための教育実践 - 『人間関係プロセス論B・D』の授業展開とその考察 - (星野欣生・大塚弥生・寺西佐雅代・中村和彦) ...	179
事業報告 (1996年度)	
事業概要	243
社会人研修	
1. 人間関係基礎研修講座 (一般研修)	244
2. 人間関係専門研修講座 (継続研修)	245
3. 社会人研修参加者統計	247
コンサルテーション	248
1997年度人間関係研究センター事業予定	250
南山短期大学人間関係研究センター規程	261



編集者 楠本和彦
大森正樹

人間関係 第15号
1998年3月20日 発行

編集発行者 〒466-0833 名古屋市昭和区隼人町19番地
電話 (052) 832-6214・6211
FAX (052) 832-6210
南山短期大学人間関係研究センター
代表者 伊藤雅子

印刷所 (株)尾頭橋印刷所
名古屋市 中川区南脇町3丁目20番地
電話 (052) 351-6231 番(代表)